

— 天竜特別支援学校 小学部案内 —

病気を治療しながらの学校教育

入院期間のみの在籍



静岡県立天竜特別支援学校は、隣接する独立行政法人国立病院機構天竜病院に入院等継続して病気の治療をするお子さんが学ぶ病弱の特別支援学校です。

心身症等の精神疾患のある児童が学んでいます。「病気治療のために入院したいけれども学習の遅れが心配。」や、「学校生活で気になる行動がある。症状を踏まえた支援の方法を知りたい。」などの御相談をお受けいたします。

学費などはかかりますか？

本校は、学校教育法で定められた学校です。

公立の義務教育ですので、授業料はかかりません。PTA 会費、安全振興会掛け金、副教材や材料費などは、御負担いただきます。

どんな内容の学習をしますか？



裏面の表のように国語や算数等の各教科は、通常の小学校とほぼ同じです。浜松市の教科書を使用し、学年相応の学習が基本となりますが、不登校などのため、学習に遅れがあったり、ゆっくり学ぶことが適当であったりする児童もいますので、その子に応じた配慮を行います。例えば、文字を書くことが苦手な場合は、書字量を減らしたワークシートを用意したり、タブレットを使用して音声入力を行ったりします。計算力を求めない問題に対しては計算機を使用することを認めるなどの配慮をして学習を行います。

主治医より登校時間の目安が示されます。始めは1、2時間の登校から学校生活に慣れていきます。病状を病院と確認、相談しながら、徐々に授業時数を増やしていきます。

自立活動とは何ですか？

自立活動の時間は、自分について考えたり、集団遊びに取り組んだりすることを通して心身の安定を図り、自己理解や自己表現、他者理解の力を高めます。いろいろなしたり、疲れたりした時の対処法を一緒に考えたり、練習したりといった授業や学校生活に必要な事柄を指導します。時間割の中では2時間ですが、学校生活全体が自立活動ととらえて支援を行います。

どんな行事がありますか？

主な行事は以下のとおりです。

- | | |
|-----|-------------------|
| 6月 | 下阿多古青葉会との地域交流 |
| 10月 | 文化祭「翔杉祭（しょうさんさい）」 |
| 12月 | 下阿多古青葉会との地域交流 |



通学方法・昼食は？

病棟から学校まで歩いて通学します（約5分）。昼食は病棟に戻って食べます。

小学部の教育課程は？

(週あたりの時間数)

学年 教科等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	(1～6年)*
国語	8	8	6	6	4.5	4.5	5
社会			1.5	2.5	2	2	1.5
算数	3.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4
理科			3	3	3	3	3
生活	2.5	2.5					
音楽	2	2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
図画工作	2	2	2	2	2	2	2
体育	3	3	3	3	3	3	3
家庭					1.5	1.5	
道徳	1	1	1	1	1	1	1
学級活動	1	1	1	1	1	1	1
総合的な学習の 時間			1.5	1.5	1.5	1.5	
外国語活動			1	1			1
外国語					1.5	1.5	
自立活動	2	2	2	2	2	2	6
総計	25	26	28	29	29	29	29

(1～6年)*：自立活動が多く必要な児童の教育課程です。例として4年の時間数を記載しています。

退院に向けて

病院での治療が進み、退院の時期が近づいたら、病棟の関係スタッフ、天特の職員、原籍校の職員、他関係機関の職員で情報共有の会議を行います。天特での生活や学習の様子、有効な支援方法などについて、個別の支援計画を基に伝えます。できるだけ支援を継続していけるよう話し合いをします。会議後、本校に籍を置いたまま、原籍校へ通う練習をします。練習期間中に1度、本校担任が原籍校に出向き、様子を見させていただき、必要な支援について助言を行います。無事復帰のための登校が終わると、退院および転出となります。

〒431-3423 浜松市天竜区渡ヶ島 201 の2
Tel 053(926)2255 (代表)
学校ホームページは「天竜特別支援学校」で検索

